

3 すべての人に健康と福祉を	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナリシップで目標を達成しよう
--	--	--

概要	交流の家の敷地内にある「樹木1」～「樹木20」までのプレートがついた樹木を「地図」を手がかりに樹木を見つけ、何の樹木なのかを当てます。見つけた数に応じて点数を獲得する活動プログラムです。			
ねらい	自然に親しみ、協調性の育成を図ります。			
条件	対象	小学1年生～	人数	制限なし
	時期	5月～10月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品) □オリエンテーリングセット(バインダー・地図・解答用紙) □熊鈴		団体(準備物) □救急セット □時計	個人(準備物) □筆記用具 □長袖、長ズボン □帽子 □雨具 □タオル
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また発着地点で全体の総括、指揮、連絡をします		
	グループ責任者	- 活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 - 発着地点で計時、記録、集計、順位の決定をします。 - 安全の確保と事故防止のためのコース巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	- 物品の貸出や回収を行います。 - 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。			
活動の流れ	【活動実施前に引率者が行うこと】 - 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導(安全指導・準備確認など)をします。 【活動】 - グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 - グループ責任者は安全面について指導を行い、活動を開始します。 【実施後】 - グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をし、貸出物品を回収します。回収した物品は事務室に返却します。 - 参加者は答え合わせをして得点を知ります。			
安全管理留意事項	○引率者は適宜コース内を巡回してください。また、引率者同士で適宜連絡を取り合ってください。 ○参加者は走らずに同じグループで一緒に行動してください。また、道が分からなくなった場合は来た道を引き返してください。 ○参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策(虫よけスプレー、長袖長ズボン)をしてください。 ○引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。			